

令和3年度 政策要望書



大津市議会新和会

令和2年10月8日

大津市長
佐藤健司様

令和3年度予算編成に対する会派要望について

平素は、会派の活動にご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。
わたくしたち「新和会」は、党派の枠を超え、市民目線の市政改革を目指し、「住み続けたいまち大津再生」に向け結集した議員により構成され、議会改革と市民のためになる行財政改革の推進に努めることを目的としています。
そのために、市民からの負託を受けて選ばれた議員として、専門性を活かし、執行部との十分な議論を尽くして、9つの政策の実現を図ることに努めてまいり所存であります。

さて、令和3年度の予算編成にあたり、会派としての政策要望を別紙のとおり提出いたしますので、本市の夢あふれるまちづくりを目指した予算編成に取り組まれるよう、よろしくお願い申し上げます。

大津市議会	新和会
幹事長	伴孝昭
副幹事長	西村和典
副幹事長	桐田真人
政調会長	細川俊行
副政調会長	井内律子
	河村浩史
	神田健次
	鳥井義徳
	笠谷洋佑
議長	八田憲児
副議長	幸光正嗣

(新和会の主な政策)

1. 歴史・文化・自然を生かしたまちづくり
2. 医療・福祉の充実
3. 学校教育・教育福祉・社会教育の充実
4. 産業・観光の充実
5. 災害対策の充実
6. 自然に配慮した農林・水産業の充実
7. 女性活躍の推進
8. 将来を見据え地域実情に応じた活力あるまちづくりの推進
9. 議員定数・議員報酬の見直しを含めた行財政改革の推進

目 次

【政 策 要 望】

1. 将来を見据えた 重点要望
2. 政策調整部
3. 総 務 部
4. 市 民 部
5. 福祉子ども部
6. 健康保険部
7. 産業観光部
8. 環 境 部
9. 都市計画部
10. 建 設 部
11. 教育委員会
12. 消 防 局

将来を見据えた 重点要望

1. 市役所庁舎整備について

- (1) 災害時に対応拠点となる市役所庁舎について、感染症対策も含め、職員が安心して働ける環境を整えるとともに、市民が親しみをもって安心して来庁できるタウンホールとして早期に整備を進められたい。

2. 市民センター機能のあり方について

- (1) 市民センターを地域の拠点として位置づけ、市民の利便性を高めるため、人員の配置を含め、一層の機能強化を図られたい。
- (2) 市民センターの防災機能について、昨今の災害等を踏まえ、ICTを活用して充実を図られたい。

3. まちづくりについて

- (1) 琵琶湖を活かした湖上交通の整備をすすめるため、国・県と連携して、雄琴港の整備を図られたい。
- (2) JR瀬田駅の乗降客数については、駅を中心としたエリアの人口増加、びわこ文化公園都市内の新県立体育館の建設などにより増加が見込まれる。JR瀬田駅前広場や周辺道路の整備、また、今後のまちづくりについて協議会等を設置するなど、地域住民とともに計画策定を進められたい。
- (3) 県都大津市及び琵琶湖観光の玄関口となるJR大津駅周辺の整備を図られたい。
- (4) 適切な教育環境を確保するため、老朽化した学校施設の長寿命化をすすめるとともに、教育施設、地域施設の複合化等についても検討されたい。
- (5) 昨今の激甚災害の状況に鑑み、災害ごみや援助物資の輸送等について、計画に基づいた対応ができるよう取り組まれたい。

4. 湖西地域振興について

- (1) 大津市・志賀町合併建設計画に基づく事業を早期かつ着実に実施されたい。また、高齢化がすすむなか、JR湖西線蓬莱駅以北の5駅について、市単独事業としてでも、エレベーターの設置などバリアフリー化と駅前の整備を促進されたい。さらに、小松学区の公民館の設置を図られたい。

- (2) 北部地域のまちづくりのために湖西台の開発に着手するとともに、そこを通る都市計画道路3.4.52号堅田駅西口線の整備を図られたい。また、これらのことに関し、地域、庁内の意見を広く聞くため、促進協議会を設置されたい。

5. 保健・医療・福祉の充実について

- (1) 地域で安心して暮らせるまちづくりを行うために、すこやか相談所等の充実や民生委員・児童委員の活動の支援に取り組まれたい。
- (2) 地域包括ケアシステムが円滑に稼働されるよう、地域の課題に寄り添い訪問診療や訪問看護、さらに介護の充実を図られたい。
- (3) 特別養護老人ホームの待機数が多い実情に鑑み、新規設立や拡充などに取り組まれたい。

6. 農業・林業政策について

- (1) 学校給食において大津産の米等の地産地消を推進するとともに、食育の充実を図られたい。
- (2) 農業、林業の担い手の育成及び次世代対策について検討されたい。
- (3) 自然災害に対する備えのため、治山治水に努められたい。

7. 生涯学習の充実について

- (1) 市立図書館及び学校図書館の充実のため、従来の紙ベースの図書の充実を図るとともに、オーディオブックや電子図書についても計画的な導入のための予算を計上されたい。

8. 学校教育の充実について

- (1) トイレの洋式化及び改修について、長寿命化対策とは別に市単独事業として早急に取り組まれたい。
- (2) 生徒指導加配や複数養護教諭加配、支援員等の継続配置に努められたい。また、小学校の専科指導教員加配や特別支援学級の自閉・情緒障害学級について、市の独自の設置基準を検討されたい。
- (3) 学校現場が主体的に予算を活用できるよう、光熱水費、消耗品・備品などの学校配算予算を一括して配算するなど工夫されたい。

政策調整部

1. 大津市総合計画の着実な推進を図られたい。
2. 大津市・志賀町合併建設計画に基づく事業を着実に実施されたい。特に志賀地区における事業については、早期に実行されたい。
3. ICTやAIを活用して家庭と医療、防災や防犯に係る関係機関と家庭など各種のネットワークを張り巡らせ、GIGAタウン構想を立てられたい。

総務部

1. 庁舎について、すでに取得されている隣接旧国有地が土砂災害警戒区域に指定されていることを踏まえて土砂災害への対策を図るとともに、大規模災害発生時にも対応拠点として機能できるよう整備をすすめられたい。なお、庁舎整備にあたっては、市民が利用しやすい県都のタウンホールとしてふさわしいものとなるよう十分に配慮されたい。
2. 大津市地域防災計画に基づき、防災対策の一層の推進を図られたい。また、ハザードマップについて、市民への徹底した周知に努められたい。
3. 市内公共施設、とりわけ避難所となる学校・園・市民センターの窓ガラスを飛散しにくい安全ガラスへ転換されたい。
4. 「大津市公共建築物の維持保全に係る基本方針」に基づき、施設の長寿命化を図るため、予防保全や早期対応による事後保全など戦略的な施設保全に積極的に取り組まれたい。また、施設の複合化についても検討されたい
5. 避難所となる小・中学校体育館に空調設備を整備されたい。
(教育委員会にも掲載)
6. 避難所について、大規模災害発生時を想定した再点検を進めるとともに、感染症対策についても再点検を行われたい。
7. 避難所での長期生活を想定した実地訓練を実施されたい。
8. 市内業者の健全育成を図る観点から、PFIなどの発注方式において市内業者を施工業者の枠組みに入れる等、発注条件を付けるなど市内業者参入機会の確保について検討されたい。

市民部

1. 市民センターについては、市民の利便性の向上を図るとともに、昨今の災害事情に鑑み防災機能等の充実を図るため、人員の増員など体制の強化を図られたい。また、ICTを活用し、現在は本庁でしかできない手続きが支所においても可能となるよう整備に努められたい。
2. 施設の老朽化が進む市民センターの適切な修繕や維持管理に努められたい。
3. 老朽化した自治会館の建て替えに対する支援を強化されたい。
4. ニート、引きこもり等、社会生活を営む上で困難を有する子ども、若者を支援するため、学校、民生委員・児童委員、少年センター等との連携を図り、より一層の支援体制の充実を図られたい。
5. すべての学区において、まちづくり協議会が設置されるよう、積極的に支援されたい。
6. 2025年の国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けて、アスリートの育成のため、県やスポーツ関連団体と連携を図られたい。
7. 「大津市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツ振興と生涯スポーツの推進を積極的に図られたい。
8. 市東南部を管轄する拠点警察署の新設等、警察体制の充実強化を県と協議の上進められたい。
9. 自転車保有者の増加にともない、マナー向上のための条例の制定を検討されたい。
10. 自動二輪車の駐輪・放置に関する条例の制定を検討されたい。
(建設部にも掲載)

福祉子ども部

1. 児童クラブの施設整備及び環境改善を行うとともに、指導員の雇用については子どもへの指導に支障がないよう適切な人員配置に努められたい。また、勤務時間についても、緊急事態等にも対応ができるように従来の時間帯にもどされたい。
2. 児童虐待防止に向けた取り組みの充実を図るとともに、職員の増員・処遇の改善に努められたい。
3. 市立幼稚園の統廃合については、保護者はもとより地域住民と十分に協議したうえで、今後の宅地開発等を考慮するとともに、施設整備や加配措置など、条件を整えた上で実施されたい。
4. 市立幼稚園における預かり保育について、必要な環境整備と人員の配置を行われたい。
5. 公立保育園と民間保育園との格差の是正に努め、とりわけ、民間保育園における障がい児保育の補助拡充を図られたい。
6. 耐震性が確保できていない公立保育園については、早急に耐震改修を実施されたい。なお、耐震改修の検討時には、施設の現状や地域の実情に応じて建て替えや大規模改修も検討されたい。
7. ひとり親家庭の生活困窮世帯への子育て支援の充実が図られているが、支援の対象となっていない世帯でも、子育ての経済的負担は大きい。子育て支援の拡充について検討されたい。

健康保険部

1. 市民病院の経営については、病院と十分な協議を行い、必要な財政措置を遅滞なく実施されたい。
2. 健康診断の実施の促進と要観察者への再検査の促進を図られたい。
3. 老朽化した特別養護老人ホームの建て替えの支援を図られたい。また、待機数が多いことから、新規設立や拡充を検討されたい。
4. 子ども医療費助成の対象については、中学生の入院費まで拡充されたい。
5. ICTやAIを活用し家庭と医療をネットワークでつなぐシステムの構築を図られたい。
6. 防疫体制について、初期における患者の受け入れ施設の設置や、入院施設の整備を図るとともに、医療物資の事前の備蓄及び入手ルートについて確保されたい。
7. 地域包括ケアシステムの構築に向け、高齢化の急速な進行による要支援・要介護者の増加に対応するため、市民センター内など市民の身近なところにあんしん長寿相談所を設置されることを検討されたい。
8. がん対策推進条例に基づき、がんの早期発見・早期治療を図り、がん患者及びその家族などへの支援を充実するなど、がんになっても安心して暮らせる社会の構築に努められたい。とりわけ、子宮頸がんの予防については対策の強化に努められたい。
9. 乳幼児期における歯のフッ素塗布を要望に応じて積極的に進められたい。

産業観光部

1. 植林や間伐材の活用、山道の整備などをすすめるため、林業従事者を育成する訓練施設の設立を検討されたい。
2. 湖上交通の整備を図るため、国・県など関係機関や民間の力を結集し、雄琴港等の港湾整備を実施されたい。
3. 観光客が天津市で2泊以上宿泊ができるプログラムを作成するため、官民が連携したプロジェクト会議を立ち上げ、取り組みを推進されたい。
4. 琵琶湖使用税などリゾート施設を対象とした独自の税制の新設について、県に働きかけるとともに、市としても調査・研究を行うなど検討されたい。
5. 「天津市農業振興ビジョン」に基づき、地産地消を促進されたい。特に学校給食で利用する食材については、天津市産の農産物を安定的に供給できるよう努められたい。
6. 学校や公共施設などに積極的に県内産木材の活用を図られたい。
7. 埋もれた観光資源や歴史・文化の再発見を図り、天津市の魅力発信に努められたい。
8. 天津3大祭り（山王祭・船幸祭・天津祭）を春・夏・秋を彩る観光資源として位置付け、継続的な財政支援とPRに努められたい。
9. 琵琶湖疏水通船運航や旧東海道を活かした観光振興において、京都市との連携強化を継続的に推進されたい。
10. ビワイチを推進するため、サイクリングロードのPRに取り組むとともに安全を考慮し、関係部署と連携して道路の舗装・自転車道整備を進められたい。

11. 農作物をイノシシやシカなどから守るため、さらなる獣害対策に取り組ま
りたい。
12. 耕作放棄地の増加に歯止めをかけるため、新規営農者を育てるなど農業の
後継者育成対策に取り組まれない。
13. 歴史文化遺産でもある国指定史跡の公有化を推進し、史跡公園の整備に向
けて、計画的、継続的に取り組まれない。また、学校教育においても地域
の歴史を学ぶ教育的観点から積極的に取り組まれない。

環 境 部

1. ごみ減量の推進は、市民の理解と協力が不可欠であるため、啓発活動のより一層の充実を図られたい。
2. 大津環境人を育む行動計画に基づき、学校教育や市民等への環境教育を一層推進されたい。
3. 琵琶湖市民清掃について引き続き積極的に支援されたい。
4. 琵琶湖の水草除去に伴う諸課題の解消に向け、琵琶湖の景観を守るためにも、市として国や県に積極的に働きかけを実施されたい。また、琵琶湖の環境保全のために取り組む団体を積極的に支援されたい。とりわけ、子どもや地域住民の取り組みには、適切な指導を含め、積極的に支援されたい。
5. 喫煙場所が少なくなる中で、JR・京阪電車の主要駅に、受動喫煙の影響を受けないマナースポットの設置を進められたい。また、たばこのポイ捨て防止の強化を進められたい。

都市計画部

1. 狭隘な生活道路について「大津市生活道路拡幅整備推進事業」の一層の推進を図られたい。
2. 皇子が丘公園体育館に空調設備を整備されたい。
3. 中山間地域活性化モデル事業について引き続き積極的な支援を行われたい。
4. 都市計画道路 3.4.46号比叡辻日吉線について、計画に基づき早期に実施されたい。また、坂本国際文化観光都市構想及び新たに必要となる都市構想についても、地域と協議し検討されたい。
(建設部にも掲載)
5. 琵琶湖や豊かな自然、歴史・文化など大津市の恵まれた既存ストックを活用したにぎわい創出のまちづくりを鋭意進められたい。
6. 中心市街地のまちづくりにおいて、歴史や文化を生かしながら、地域の意見を反映した取り組みを進められたい。
7. 空き家が急増していることから、空き家の利活用などの取り組みを進めるとともに、「大津市空家等の適正管理に関する条例」に基づき、倒壊の危険性がある空き家など近隣住民に重大な影響を及ぼす空き家については、行政代執行も含めた対応を検討されたい。
8. 高齢化や運転免許返納の状況に鑑み、交通不便地域におけるデマンド交通の取り組みを積極的に進められたい。
9. 老朽化が進む市営住宅の計画的な改修を実施されたい。
10. 市営住宅入居時における、保証人制度の見直しを検討されたい。

11. 湖西方面の産業振興のため、湖西台の利活用の方針を早期に策定されたい。
12. 県都大津の入り口にふさわしい大津駅舎及び駅前の再整備を図るため、新たな構想を立て取り組まれたい。
13. 大津駅前公園の活用は、県都大津市の玄関口の恒久的な賑わいの創出を図るために重要である。官民連携のもと、早急に大津駅前公園の賑わいの創出を図る手段を講じられたい。
14. 児童公園、児童遊園地、都市公園における今後のあり方について、遊具の必要性や公園の用途等について検討されたい。
15. J R 瀬田駅の乗降客数の増加が見込まれることから、J R 瀬田駅前広場や周辺道路の整備をすすめられたい。また、あわせて今後のまちづくりについて、協議会等を設置するなど地域住民とともに計画策定を進められたい。
(建設部にも掲載)

建設部

1. 国幹事業の促進を図りたい。
 - (1) 大戸川ダムの整備促進
 - (2) 大津放水路の整備促進
 - (3) 新名神高速道路の整備促進
 - (4) 国道1号大津・山科バイパスの整備促進
2. 県道仰木本堅田線のうち、明火橋から国道161号に至る区間の拡幅整備計画について、県と十分な連携を図りたい。
3. 国道477号琵琶湖大橋西詰から琵琶湖サイエンスパーク間の4車線化の整備促進を図りたい。
4. 主要地方道伊香立浜大津線については、災害時の防災機能を有する道路として一層の整備促進を図りたい。また、坂本工区整備の促進及び早期供用開始に向けて、県と連携して推進されたい。
5. 都市計画道路3.4.46号比叡辻日吉線について、計画に基づき早期に実施されたい。また、坂本国際文化観光都市構想及び新たに必要となる都市構想についても、地域と協議し検討されたい。
(都市計画部にも掲載)
6. 市道の計画的な補修・長寿命化を推進されたい。
7. 都市計画道路3.4.21号本堅田真野線の早期全線開通に向け必要な予算を措置するとともに、市道北1143号線から当該都市計画道路へ北向きに進入する際、東側の見通しが悪く危険であるため、ミラーの設置等、安全対策を講じられたい。
8. 地域住民の安全確保と渋滞緩和を図るため、市道幹2123号線(びわこ競輪場跡地西側 BRANCH 大津京)の拡幅工事の計画実施を図られたい。

9. 都市計画道路 3.4.52 号堅田駅西口線の早期完了を図られたい。
10. 市道橋の長寿命化修繕計画に基づき、計画的な市道橋の維持・管理・耐震化をより一層図られたい。
11. 大雨にも耐えられるよう、中、小河川の整備の実現を順次図られたい。
12. 歩道整備、側溝整備を年次計画的に図られたい。
13. 危険箇所の改良や補修と道路パトロールを強化し、交通安全対策の積極的な推進を図られたい。
14. 高齢者や障害者など交通弱者対策の推進及び交通不便地域等へのデマンド型乗り合いタクシー等の導入を早期に図られるとともに、デマンド交通の充実など、新たな交通ネットワークの確保を目指し具体的な対策を講じられたい。
15. 大津市バリアフリー基本構想の重点整備地区に指定されている地域について、その具体化に向けて積極的に取り組まれたい。特に、福祉関連施設の周辺については、早期にバリアフリー化を図られたい。
16. 道路の空洞化調査及び対策を計画的に進められたい。
17. 自転車を利用される市民が多いなか、自転車走行への指導が厳しくなり、自転車専用レーンの必要性が高まっている。自転車専用レーンの整備を年次的に図られたい。また、国道や県道については所管機関へ要望されたい。
18. 大津駅前南口の利活用が進んでいないなかで、現在大津駅南口公共駐車場が閉鎖されたことから、今後の活用方法について大津駅利用者や地域の意見を聞き、鋭意協議を進められたい。
19. JR湖西線蓬萊駅以北の5駅について、エレベーターの設置などバリアフリー化の整備を促進されたい。

20. JR湖西線の通勤時間帯の増発について、県と協力して西日本旅客鉄道株式会社に対して要望されたい。
21. JR膳所駅の南側広場について、国道からバスや自動車が乗り入れできるよう、早期に整備をされたい。
22. JR瀬田駅の乗降客数の増加が見込まれることから、JR瀬田駅前広場や周辺道路の整備をすすめられたい。また、あわせて今後のまちづくりについて、協議会等を設置するなど地域住民とともに計画策定を進められたい。
(都市計画部にも掲載)
23. JR比叡山坂本駅について、構内の整備、バス運行増加、観光客増加に対応できる駅前ロータリーの整備を事業者と連携して検討されたい。
24. 自動二輪車の駐輪・放置に関する条例の制定を検討されたい。
(市民部にも掲載)

教育委員会

1. 適切な教育環境を確保するため、老朽化した学校施設の長寿命化対策を積極的に進めるとともに、トイレの洋式化及び改修については、長寿命化とは別に単独事業として早急に取り組まれない。
2. 学校・園施設改修については、他の施設との複合化を視野に入れ推進されたい。
例えば
 - ① 瀬田小学校等校舎対策（プレハブ・幼稚園、児童クラブ・駐車場）
 - ② 仰木小学校等校舎対策（幼稚園・市民センター・児童クラブ）
 - ③ 唐崎中学校等校舎対策（市民センター・新築）
 - ④ 日吉台小学校等校舎対策（幼稚園・児童クラブ・公民館）
 - ⑤ 唐崎保育園・幼稚園園舎対策（幼保一体型園舎・小学校敷地の利用可）
 - ⑥ 晴嵐小学校等校舎対策（幼稚園・新築）
 - ⑦ 中央小学校等校舎対策（プレハブ）
 - ⑧ 伊香立小中学校等校舎対策（市民センター・小中一貫）
 - ⑨ 石山小中学校等校舎対策（市民センター・小中一貫）
 - ⑩ 瀬田東小学校等校舎対策
 - ⑪ 志賀小学校等校舎対策（新体育館・児童クラブ・駐車場）
 - ⑫ 真野小学校、真野北小学校等校舎
3. 国が定める備品整備計画に基づく備品整備を着実に行われたい。また、学校運営に支障が生じないように、備品や消耗品などの予算については必要かつ十分な予算を措置されたい。
4. 学校給食における安全対策や地産地消の推進、アレルギー対策などにしっかりと取り組まれない。
5. 通学路における防犯カメラの設置やスクールゾーン、横断歩道、信号設置など安全確保のために必要な整備を関係機関と連携して実施されたい。
6. 特別支援教育の充実のため、支援員の配置を増員されたい。

7. 避難所となる小・中学校体育館に空調設備を整備されたい。
(総務部にも掲載)
8. 公民館については社会教育の拠点として運営に際して人的配置を引き続き行われたい。また、市が進めるコミセン化がすすめられた場合においても社会教育を推進するための人員配置を検討されたい。
9. 公民館が未設置の地域にあつては早期に設置されたい。
10. 学校教職員の多忙化を防ぐため、生徒指導や養護教諭等、市費負担講師を継続して配置されたい。
11. 葛川小中学校の特認校に伴い加配措置をされたい。
12. 小学校における専科教員の配置を促進されたい。
13. 小学校における理科教育の充実のため支援員の配置を増員されたい。
14. 市立図書館の利用促進及び書籍の充実を図られたい。
15. 葛川少年自然の家の施設整備をすすめるとともに、登山道を山岳関係者と協力して整備されたい。また、安全を確保するため職員の増員及び同施設での宿泊の際に病気等配慮を有する子どもに対応するためのドクターの派遣についてもより一層配慮されたい。
16. 中規模校、大規模校においては病気や緊急のけが対応、校外学習への引率、さらには教育相談を行うなど、さまざまな状況に対応するため、養護教諭を複数配置されたい。
17. 少年センターの機能を充実させるため、SSWを常駐させ、保健所や福祉関係、地域の民生委員・児童委員等との連携を図り、子どもや保護者へのかかわり、見守りの強化を図るとともに、高校卒業以上のひきこもりの状況把握と対策の強化を行われたい。また、大津東南部に新たな少年センターを設置することについても検討されたい。

18. 精神的に不安定な保護者の学校へのクレームに対する対応をマニュアル化し、不当要求等の場合は法的措置をとることも勘案して対応策を研究されたい。
19. 土曜日授業の再開や休業期間の短縮など、今日的な要請に応えるため、学校運営管理規則の見直しについて、学校関係者、家庭に対して聞き取り、意向調査を実施されたい。
20. 主権者教育の充実を図られたい。
21. 省エネの観点から、学校・公民館のLED照明への切り替えの促進、エアコンの交換を実施されたい。
22. 高校入試について、発達障害のある生徒の個々の実情に応じた合理的配慮が十分に行われるよう県教育委員会に要望されたい。
23. 大津市の教育の特徴ともいえる地域と学校との連携した取り組みを一層推進するため、コミュニティ・スクールや学校協力者会議の充実を図られたい。
24. 家庭教育は教育の原点であり、すべての教育の出発点である。基本的な生活習慣や善悪の判断など、基本的倫理観、自立心、社会的なマナーなどの生きる力の基礎的な資質や能力を育成するうえで重要であることから、家庭教育の一層の充実を図られたい。
25. 夢あふれる学校予算について、光熱水費、消耗品や備品などの学校配算予算を含む、(仮称)総合学校管理運営費として学校に配算することを検討されたい。
26. G I G Aスクール構想に関連して
 - (1) タブレットについては、様々な家庭事情を考慮し、本体単独で通信機能を有するものにされたい。
 - (2) タブレットについては、以下の機能を有するよう考慮されたい。
 - a) 各教科の資料等の共有、円滑な情報伝達などのため、グループウェアを導入されたい。

- b) 教科書に準拠した家庭学習支援ができる学習支援ソフトを導入されたい。
 - c) 英会話の習得を促すため、いつでも、どこでも学べる英会話ソフトを導入されたい。
- (3) 障害がある子どもに、その障害に応じた対応を保護者と相談のうえ行われたい。また、以下のことを配慮されたい。
- a) 弱視の子どもにはそれぞれの事情を考慮したアプリの使用を認められたい。
 - b) LDの子どもには、キーボード付きのタブレットを考慮されたい。
 - c) 障害の状況に応じタブレットの大きさを配慮されたい。

消 防 局

1. 民間活力を利用した救急の導入を検討されたい。
2. 地域防災の要である消防団の団員確保と女性が入団しやすい環境整備の充実を図られたい。
3. 自主防災組織の継続的な支援やフォローアップ訓練等で組織の充実を図られたい。
4. 自然災害が多発傾向にある中で、市民の安心・安全な生活を守るため、資機材のさらなる充実と常備消防の人員確保に努められたい。
5. 地域消防団の老朽化した消防自動車の更新を速やかに進められたい。
6. 自主防災組織への継続的な支援に努められたい。
7. 常備消防が使用する救急車や消防車両などの適切な維持管理と適正な更新に努められたい。
8. 瀬田東消防署の増改築及び機能強化に向け早急に取り組みられたい。